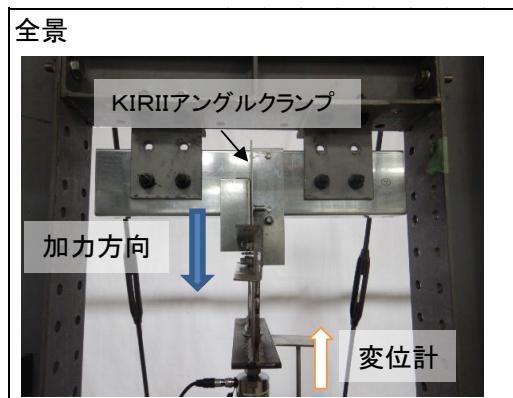
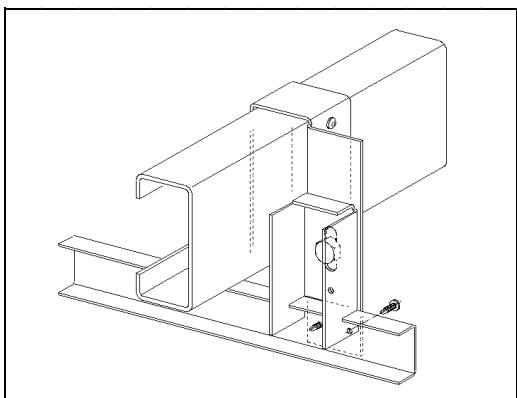


## 試験成績書



試験部材 : KIRII Angle Clamp (C100用)

試験項目 : 鉛直方向 引張

株式会社 桐井製作所

開発部 技術研究グループ

〒100-6605

東京都千代田区丸の内 1-9-2

グラントウキヨウサウスタワー5階

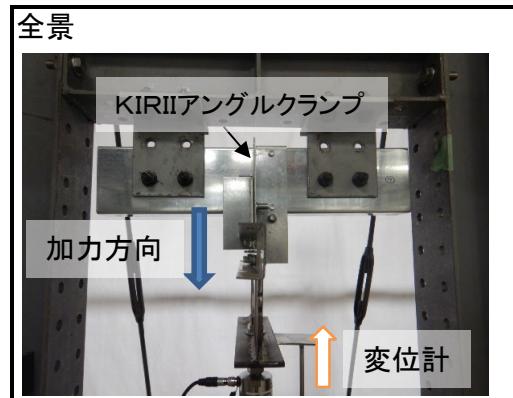
Tel: 03-4345-6005

Fax: 03-6895-0220

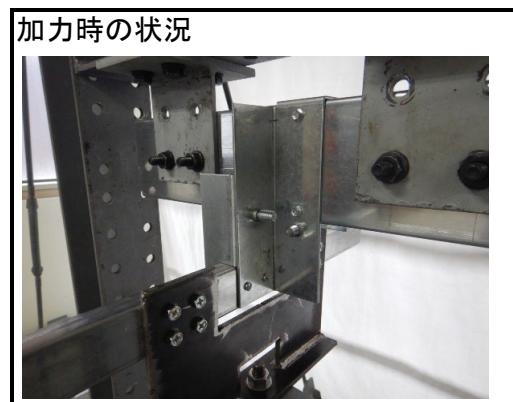
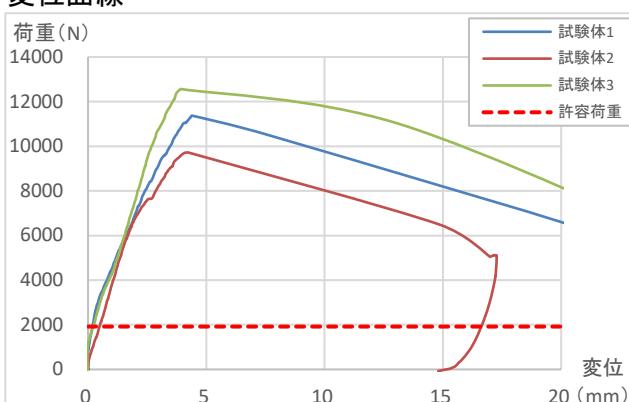
検印	作成
稻毛	梅村

## ◇ 試験概要

品名	： KIRIIアングルクランプ(C100用)
試験項目	： 鉛直方向引張
試験機	： 加力機:理研精機(株)製 手動油圧ジャッキ+シリンダー(MD05-200) 荷重計・変位計:株東京測器研究所製(TCLA-20KNB・SDP-200D)
試験速度	： -
試験体寸法	： -
使用部材	： 支持構造部 : C-100×50×20×1.6 直固定金具 : KIRIIアングルクランプ(C100用) 野縁受け : C-40×20×1.6
試験方法	： 支持構造部を想定したC-100×50×20×1.6にKIRIIアングルクランプにより野縁受け(C-40×20×1.6)を設置する。野縁受けに取り付けた加力治具に油圧シリンダーを接続し、鉛直引張方向に加力した。
評価方法	： 試験体1、2、3の最大荷重のうち、最小値に安全率(2/3) <sup>3</sup> を乗じた値を損傷荷重とし、損傷荷重に(2/3)を乗じた値を許容荷重とする。

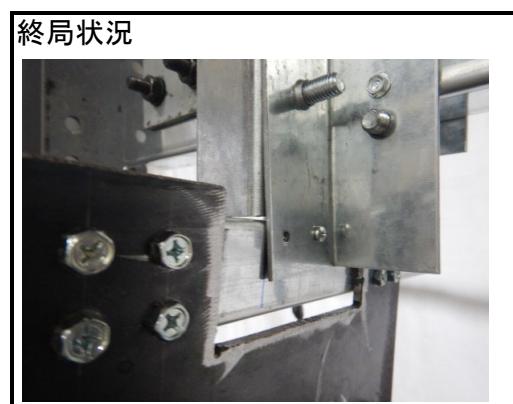


## ◇ 荷重-変位曲線



## ◇ 試験結果

	最大荷重	最大荷重時変位	終局状況
	N	mm	
試験体1	11368.9	4.40	KIRIIアングルクランプとC-40×20×1.6を接合しているビスの破断およびC-40×20×1.6フランジ部、KIRIIアングルクランプ切込み部の変形
試験体2	9723.0	4.17	
試験体3	12563.6	3.93	
平均値	11218.5	4.17	
最大値	12563.6	4.40	
最小値	9723.0	3.93	

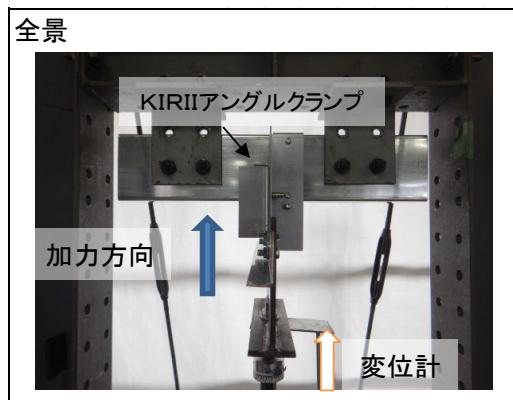
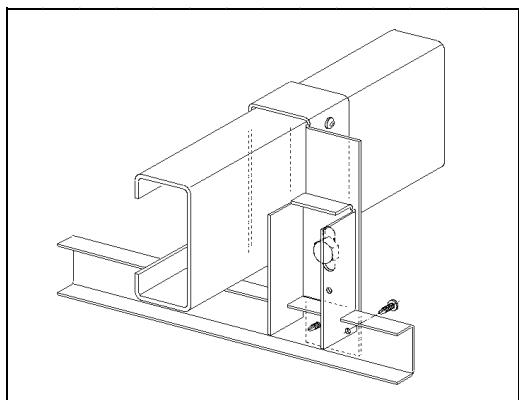


$$\begin{aligned} \text{損傷荷重} &: \text{最大荷重(最小値)} \times (2/3)^3 & = 9723.0 \times 8 \div 27 &= 2880 \text{ N} \\ \text{許容荷重} &: \text{最大荷重(最小値)} \times (2/3)^3 \times (2/3) & = 9723.0 \times 16 \div 81 &= 1920 \text{ N} \end{aligned}$$

$$\therefore \text{許容荷重} = 1920 \text{ N}$$

試験日 : 2023/6/9  
試験者 : 大塚 久遠

## 試験成績書



試験部材 : KIRII アングルクランプ (C100用)

試験項目 : 鉛直方向 圧縮

株式会社 桐井製作所

開発部 技術研究グループ

〒100-6605

東京都千代田区丸の内 1-9-2

グラントウキヨウサウスタワー5階

Tel: 03-4345-6005

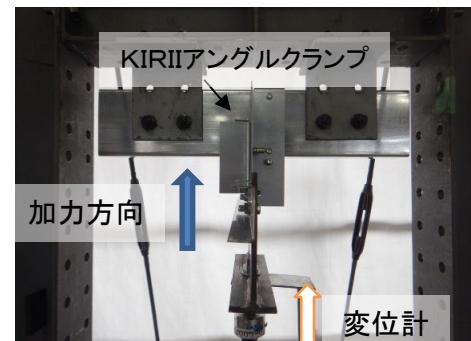
Fax: 03-6895-0220

検印	作成
稻毛	梅村

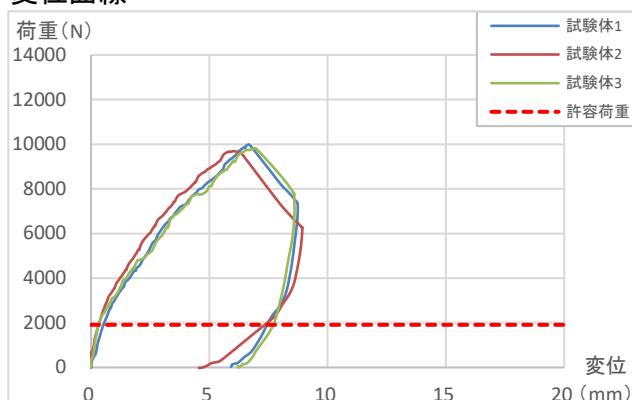
## ◇ 試験概要

品名	： KIRIIアングルクランプ(C100用)
試験項目	： 鉛直方向圧縮
試験機	： 加力機:理研精機(株)製 手動油圧ジャッキ+シリンダー(MD05-200) 荷重計・変位計:株東京測器研究所製(TCLA-20KNB・SDP-200D)
試験速度	： -
試験体寸法	：
使用部材	： 支持構造部 C-100×50×20×1.6 直固定金具 KIRIIアングルクランプ(C100用) 野縁受け C-40×20×1.6
試験方法	： 支持構造部を想定したC-100×50×20×1.6にKIRIIアングルクランプにより野縁受け(C-40×20×1.6)を設置する。野縁受けに取り付けた加力治具に油圧シリンダーを接続し、鉛直圧縮方向に加力した。
評価方法	： 試験体1、2、3の最大荷重のうち、最小値に安全率(2/3) <sup>3</sup> を乗じた値を損傷荷重とし、損傷荷重に(2/3)を乗じた値を許容荷重とする。

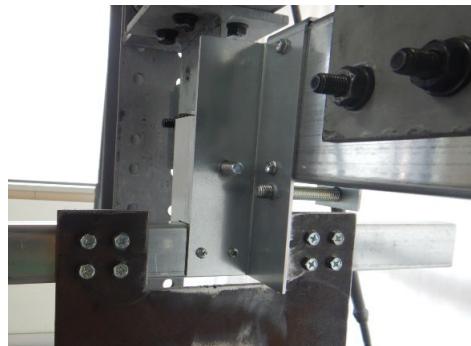
全景



## ◇ 荷重-変位曲線



加力時の状況



## ◇ 試験結果

	最大荷重	最大荷重時変位	終局状況
	N	mm	
試験体1	9968.7	6.71	KIRIIアングルクランプとC-40×20×1.6を接合しているビスの破断およびC-40×20×1.6フランジ部の変形
試験体2	9689.9	6.04	
試験体3	9811.7	6.97	
平均値	9823.5	6.57	
最大値	9968.7	6.97	
最小値	9689.9	6.04	

終局状況



$$\begin{aligned} \text{損傷荷重} &: \text{最大荷重(最小値)} \times (2/3)^3 & = 9689.9 \times 8 \div 27 &= 2871 \text{ N} \\ \text{許容荷重} &: \text{最大荷重(最小値)} \times (2/3)^3 \times (2/3) & = 9689.9 \times 16 \div 81 &= 1914 \text{ N} \end{aligned}$$

$$\therefore \text{許容荷重} = 1910 \text{ N}$$

試験日 : 2023/6/9  
試験者 : 大塚 久遠